

平成 26 年 8 月 1 日

各 位

J-STAR 株式会社
代表取締役 原 禄郎

責任投資原則(PRI)への署名について

弊社はこの度、環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の 3 分野 (総称して「ESG」) への影響に配慮した責任投資へのコミットメントを表明し、国連が支援する責任投資原則 (United Nations-supported Principles for Responsible Investment、略して「PRI」*) に署名いたしました。

弊社は従来から、ESG への配慮が弊社および投資先企業の活動に大きな影響を与えるものと認識しており、また、弊社が掲げております「投資を通じた企業の課題解決の実現」という理念にも合致することから、ESG に配慮したガイドラインを設けて投資活動に従事して参りました。弊社は PRI への署名により、責任投資を行っていくことへの意思と姿勢を対外的に明らかにし、運用するファンド出資者の皆様に対する受託者責任と、投資先企業及びその役職員、取引先企業など、ステークホルダーの皆様に対する責務をより一層果たして参ります。

*PRI は 2006 年、国連事務総長であったコフィー・アナン氏をはじめとする世界中の大手投資家により提唱された投資原則で、ESG に関する諸問題を投資決定プロセスで考慮させるべきとするものです。国際的に ESG に関する責任投資への関心が高まる中、PRI に署名・原則の受け入れを行うことにより、弊社の推進する責任投資活動を促進して参ります。また、ESG に配慮した責任投資は弊社運用ファンドへ出資いただいている世界の有力機関投資家を含む出資者皆様からご期待いただいているものでもあります。投資先企業を取り巻く様々な ESG リスクを精査しそれらの課題へ取り組むことにより、各社業績を含むパフォーマンスの向上、しいては中長期的な投資リターンの拡大を図れるものと考えております。

(ご参考) PRI の定める 6 つの原則は以下の通りです。

(出典 : <http://www.unpri.org/about-pri/the-six-principles/>)

1. 私たちは投資分析と意思決定プロセスに ESG の課題を組み込みます。
2. 私たちは活動的な株式所有者となり、株式の所有方針と所有習慣に ESG 問題を組み込みます。
3. 私たちは投資対象に対して ESG 問題について適切な開示を求めます。
4. 私たちは資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きか

J-STAR

けを行います。

5. 私たちは本原則を実行する際の効果を高めるために協働します。
6. 私たちは本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

以上

J-STAR 株式会社 (www.j-star.co.jp)

J-STAR は、2006 年に創業した国内独立系の投資会社で、主に未公開株式への投資を行うプライベート・エクイティ投資、その中でも経営権を取得し、当該事業価値の向上を図るバイアウト投資事業を手がけています。 J-STAR は企業・経営陣の課題解決、成長ストーリーを重視した投資提案を行うとともに、①優れた経営者/幹部社員の存在、②ファンドマネジャーの関与による付加価値増大余地、③市場地位やビジネスモデルなどの特異性/優位性を投資基準に、ファンドマネジャー達の経験/知見/スキルが活かされ易い、企業価値 30 億円～100 億円の案件を主要投資対象にしています。創業以来、J-STAR は消費財、サービス、ヘルスケア、環境、製造など多岐に渡る業種に属する 18 社への投資を行っています。